

沖永良部島

インターネットホームページ

島へ一筆献上

# 島への手紙第三集

平成二十二年一月吉日現在

[erabuisland.com](http://erabuisland.com)

この島への手紙は、沖永良部島インターネット  
ホームページ（[erabuisland.com](http://erabuisland.com)）へ投稿された  
投稿者の熱意が伝わるように投稿文をそのまま  
掲載しています。ホームページをご覧頂けない方や  
それぞれの思いを島の人で共有でき、よりよき島に  
なることを願ってまとめてみました。  
まだ見ぬ島への思いや、島を離れ、遠地より  
見た島の姿、島への思いがつづられております。  
是非お読み頂き感想などや、ご自分の投稿を  
お寄せ下さい

投稿先は <http://erabuisland.com/>  
お問い合わせは [erabu@js3.soonet.ne.jp](mailto:erabu@js3.soonet.ne.jp)

平成二二年 一二月吉日制作

[erabuisland.com](http://erabuisland.com) webmaster

暮娘れ．こてとど  
 らゝる．とゝき．生  
 す人．が社か．ま  
 (計がやな出会ら．れ  
 み画独はぜ来人ほ乳育  
 きを立りかなにん離っ  
 32 しし．ホいなのをた  
 歳 てた．ツエっ数も訳  
 いら．とラて年出で  
 大まゝ．阪す島帰しブも間来は  
 府．にりてへゝゝてな  
 ) 帰たゝの忘過いい  
 っい癒思れごなけ  
 て．さいるしいれ

てが島まし島  
 おゝにせたに東  
 り近はんが居京  
 まい2ゝたに  
 す。う年ちことは  
 (ベちほよこき星  
 クにどつには空  
 2は帰、は毎が  
 歳帰つ悲星日あ  
 東ろてし一眺り  
 京ういいつめま  
 都とまでもてせ  
 )思せす見いん  
 っんゝえまゝ。

戻まずこて永い経沖  
りすっのた良でっ永今  
たよと目青部すた良年  
いうきにいで °今部の  
な  
にれ焼海一まも出冬  
（★ち °いき・緒だや身に  
い あな付すに大っで付  
20 のまけく見好ばすき  
歳 幸まにえよきり °合  
兵 せの行そう °忘別っ  
庫 な島きうっいれれて  
県 時でたなてっらてた  
） 間あい星言かれ半彼  
にり °をっ沖な年が

ま切はで内一何  
 すにあし容年か沖  
 しりたのとし永  
 てま °あ四ら良  
 生せもるケ愛部  
 きんう非月着島  
 てが、常のを  
 行、仕に生活感こ  
 きこ事充でじの  
 たので実しま音  
 い想来したすの  
 といるたけ °響  
 思をこ日ど僅き  
 い大と々、かに

(小  
 寺  
 51  
 歳  
 さ  
 い  
 た  
 ま  
 市  
 )

を永れで難れを道しま扱は名滞り度  
心良にもしば感なてせい知瀬在夜か付  
か部訪まく島じどいんさらにし見島き  
ら島れた `に感快るでれなもてたに合  
望<sup>望</sup>がたき希住謝くとしたい行い星行っ  
み<sup>み</sup>沖いれ望みし教やたり人っる空きて  
ま<sup>ま</sup>永とい通たてえさがとかた時がまい  
す<sup>す</sup>。良思なりいまでし `残らこすとする

(ま  
こ  
21  
歳  
福  
岡  
市  
)  
部っ星にとすもく沖念ジとごてた彼  
島て空な思 °ら声永な口がくも °女  
らいやりっいっを良がジあ安きすが  
しま暖そてまたか部ら口るられご沖  
くすかうい `りけ島あ見のぎいく永  
あ °いにま大とてでまらでをで自良  
りい島あす学島もはりれす感感然部  
続っのりが3のら一好たがじ動が出  
けま感ま `年ぬっ人きり `まし残身  
るでじせ現でくたでによ名したっ者  
こもにん実出もり散なそ瀬たりてで  
と沖触 °は来り `歩れ者で °とた何

せ樂に歸  
 んしもれ嬉  
 よみ是まし  
 うで非すい  
 にす行。ー  
 ・。っタ！  
 ☆。どてラも  
 ・。うみソう  
 34 歳 おす  
 福 台い。のえ  
 岡 風。のえら  
 県 がとらぶ  
 ) 来てぶ  
 まもーに

にし出た台どま検たて

い<sup>°</sup>でこ風りしの<sup>°</sup>ど島

（大島すと<sup>°</sup>のた旅おうの

阪に<sup>°</sup>、号魚<sup>°</sup>をかもみ

市行そど、が 無げあな

立けしれサ<sup>泳</sup>美事様りさ

大るてもト<sup>ぐ</sup>し終でがん

学日ま忘ウ、<sup>海</sup>いえ2と親

がたれキ<sup>満</sup>洞る週う切

探来こがビ<sup>天</sup>窟こ間ごに

検まのたをの、とのざし

部す素いか<sup>星</sup>色が洞いて

一同よ晴思じ空とで窟ま頂

）うらいっ、りき探しい

島走ま沖よらい楽

島を以永うもとし

(KUNIMISHI) 中を生たに思

に出学か部頑あうに

て時しこの張のまのし

て代り名れりてで

年今か前た島、いま

が出まをいこのす

過會も全で帰の。歳

ぎすぎ鹿国すゆる

まごに機。う

し長し島広ここ会な

た距て県めはれ

離。きやる無を

国分市)

てををなきてとでれか  
 た生しっまい沖もてら島  
 いてたしい永島も恥を  
 (なだまみた島良か沖ず出  
 東 京 都 22 歳 ★ kyari ★ )  
 らすん °だ部ら縄かた  
 絶 °な今っが離だしと  
 対いにでてとれとくき  
 につ沖は感てて言ては  
 沖か永こじも暮っ出小  
 永自良こるすらい身さ  
 良分部でこばしま地な  
 部がの友とらてしを離  
 で子自達がしいた聞島  
 育供慢にでくる °かだ

連姉本

絡さ家〇

もんの歳

、、さぐ

で元だら

き気よ

ずご

めす兄、

歳んかさ島

よ？んに

！な、い

かえ

なみた

かこ、

(福

〇

歳

草

加

市

)

か知ぶくしゝのでゝ營級まも  
 (小にゝりつた年ゝすし生す亡ゝ  
 米会てにくゝぶゝラゝてにゝくゝ歳  
 人えい島思こりブゝい偶先なゝま  
ゝるるにいんにの年る然日ゝで  
 歳と人帰まな逢同ぶ居逢武て島  
 良もろし事い級り酒い蔵家に  
 東いあうたゝ生で屋ま小もい  
 久なまゝて無にしにし金壊ま  
 留とり思今あ茶もた偶た井しし  
 米思ゝいゝ年る苦会ゝ然ゝでゝた  
 市ゝつゝなてのん茶えお入同知しゝ  
 )ていい夏だ興まかゝ級名ま今  
 いけまはな奮しげた生小ゝは  
 まどすゝとしたでかゝのゝてゝ両  
 す誰ゝ年ゝつゝまゝ他ら経同い親

と島でで∞沖は年  
 (活つと必行年高3に昭  
 魚て同ずいは同回と和  
 料も級帰ま還窓位ち∞  
 理楽生りす曆会から年  
 屋しにまのをはな生  
 をみにの迎毎?へ  
 しに会すでえ回東来下  
 てしえ。ま出京て城  
 58 歳 まてる久そす席で島出  
 すまのしのがしのへ身  
 平 すをぶ時、て沖帰で  
 塚 今りはエま州つす  
 市 かの夫ラす会た。  
 ) ら帰婦ブ。の心

らみとの思葉え省み来やご安り良期ねらに  
 くには結いはらは `まし両でま部でて顔挨初  
 でし久婚ま解れ出今して親一し空 `み見拶め  
 すてし式りり来でたくに杯た港私た知にて  
 がいぶですかすなは °れもだ °にはかり伺島  
 樂るり鹿！ね °い2そ `温つ勤電当った行  
 しよ！児がまいけ人のゆかた務話初たつ  
 いう子島りすまどと後っくの疲を勤のたとた  
 時で供まやがだ `子 `く迎でれし務でのきた  
 間すたでし `に島供とりえすと `しすでの  
 が °ち家や少同のにン&らが台夜て °すしは  
 過宿も族りしじ方もトぐれ `風勤いあがた8  
 (ごも大でりづ鹿々恵ンっ `着に明たい ` °年  
 三喜せ同き行りっ児にま拍す夜ばよけ病に結主8  
 33うになま え出い `に過明？暴飛かそ前の °  
 歳でしっす来て身った結ごけ島風行らのに母主  
 奈。たた °月いでもま婚すのはで機何日一と人  
 良 のの主はきも温に話こ疲晴疲に度は度はの  
 県 でで人いた島かしもとれれ 勞飛も台島以ご  
 ) し樂のといのくかすがも々 とび沖風を前両  
 ばし母こと言迎帰す出い `不乗永時訪か親

す楽しい謝大た親年こ良築  
 °し人し工 °孝退は部祝 島  
 (マイ 島 にかお方いの後のGの 建  
 ク の しりり々にたの奥Wた て  
 56 人 て °まが多め島さ中め た  
 歳 有 `3す来くに生ん滞に 可  
 難 仕年 °ての早活の在1ら 愛  
 さ う 事後田い親々と田し年し  
 い ! にの舎た戚とご舎ま半い  
 た 頑新のだの建両でしぶ別  
 ま 張生人き方て親すたり荘  
 市 ) り活は `々まへ °°にの  
 まをい感 `しの定こ永新

うるいの転すっいうか詰ま○  
 のデ°り車°たでよ°ます年ふる  
 にン明・をのしうっさ  
 °ウ日・こきでよにてね（千）  
 夏イに・いび見うな最し？昌と  
 は一で今で畑せかり近まこの夫は  
 連クもは屋にて°まうのフの（弘）  
 休も帰子子挟あ子し島のレ  
 一と終り供母まげ供たのは一  
 39 っわたと海れたも°星私ズ山て  
 歳てっ自岸たいだ夏空だを皆か  
 帰たで転ま道といがをけ歌さら  
 奈ろばす車でを思ぶ近懐でうん）  
 良くかねで行友っ大づかと知は  
 市かり°走っ達てきいしし  
 などゴりたといくたくよ胸っや  
 ！いした道自まなせ思うがて○

きいた小校美きつに  
 たな °学庭しずて魅  
 い | 感校にい沖訪せ  
 な °動皆大海でれら  
 (石 | ぜのさき `ボまれ  
 川 ひ連んな農 | し神  
 平 嫁続お木家トた戸新  
 57 とで世がのに °か日  
 歳 孫し話植お乗本ら本  
 兵 をたにわば換船一紀  
 庫 °なっちえが人行  
 県 れ懐りてやた接船の  
 ) てかまいん事岸に放  
 行しした ` `で乗映

30  
 数  
 年  
 前  
 21  
 年

り島生とがれ今くとすにく  
 まに活をいて住て思が転帰  
 す戻も残いまんこい、々つ  
 ！り何念！すでこゝたとて  
 ！たケに！がるに懐ましは  
 い月思こゝとたかにな休  
 とかいのやこどしふが息  
 思のま夏っろりいとらし  
 いですはぱはつ島海仕ゝ。  
 ない。泳あ隣きのに事新ち  
 がずこげのにま画行をたよ  
 られこな広川し像きしなく  
 頑はでいいがたみたて土ち  
 張ゝのこ海流。たいま地よ

(上手人 25歳 奥飛驒)

島を離れて1ヶ月

まもだた新らのわが良も沖  
 す 'あい校な人っえ部 '永私  
 ! 沖るで舎いたたりの小良は  
 ( ! 永のすとこちこま大学部小  
 に ! 良でがなとのとす自校に学  
 は 部し 'りで心と☆然の住校  
 ち に行よ巨きしの思あで思  
 やん 行う大れよ温いの過いで  
 24 歳 たかスに和泊今 'ら記っ  
 福 岡 県 ) 思こッて学で沖 '憶たた年  
 っのクい校も永島がら! 生  
 て夏はるが変良もよ沖今ま  
 いでまみ , わ部変み永でで



をたしげな田なし特日懐  
 聞 なたく舎のてに々か島  
 き中がい！にがる幼でしを離  
 な島らなま帰年か馴すくれ  
 のがみゝたっ老な染。思て  
 ぶらゆ高！元てい？の中いから  
 の書き校色気元たそ“、ら  
 歳きゝの々な気母しい高思早  
 大まホとな姿な親てっ校い  
 阪ししき事を姿で何せの出年  
 府たム好を見をすよい時に！  
 ）°にき思せ見°り”のひ物  
 てだいてた早心ど友た凄  
 っ出あいく配う！るく

: のう材後後こ沖のちうき  
 命 °育世輩そ永自はもた<sup>先</sup>  
 愛成にに島良分未の<sup>人</sup>  
 島島を伝歴に部を来<sup>達</sup>  
 と精惜え史返島育に過<sup>「</sup>は  
 共神しなやしだて何去<sup>故</sup>郷様  
 にのみい文た °たをには<sup>と々</sup>な  
 あ祖なと化い海の見生<sup>遠</sup>言  
 り風くい °山はてきくの  
 ま継しけ島たの間たてに葉  
 す承よなムく御違のき在を  
 よ °ういニさ恩いかたり残  
 う我と °等んをな °人てし  
 にこ思人をの今く今た想て

( 萩原 26歳 八王子市 )



J てこけ内部機け  
 A みとるし島内嬉  
 L たしチなはかし、  
 いこヤが”らく 沖  
 C とそンらゆ、な 永  
 A 思ゆス、り 沖り 良  
 でっりが自”縄ま 部  
 ケす。てでか分で到し 島  
 い綺、で有着たの  
 ま麗たは名前。H  
 すな私一でに J P  
 °島で度す沖 A を  
 昔をすもと永 L 見  
 の見！行案良でっ

(渡部ケン 60 歳代)

ずろてうま親かく私島親  
 行んほかまが、こののが私  
 き私しそな<sup>〇</sup>どと夢知新の  
 まがいれの年ん<sup>〇</sup>は名婚前  
 (す 訪とまかいな知新町旅で  
 知 くれ願で分上自名婚に行あ  
 奈 たら  
 26 ! たつきかも然町旅由でる  
 歳 後てレり前がが行来訪  
 滋 くいまにあどでしれ「知  
 賀 ずまなせ見るん知てた奈  
 県 っす町んたのな名い沖ー  
 ) と<sup>〇</sup>でが景か町町ま永は  
<sup>〇</sup>もあ、色、なにす良、  
 必ちっどの両の行<sup>〇</sup>部両

親 っ たい あ ー り 出 今 いか の ー  
 不 て ら で る ブ 神 ° か 出 ら 時 台 こん  
 孝 も 最 す み が 戸 ー ら し ー 期 風 こん  
 ( 翔 者 親 高 ° た 最 が 歳 思 ま 年 大 が ば  
 の の の の の 帰 い 高 遥 で え す 前 変 近 こん  
 マ 娘 顔 祝 り で で か 神 ば ° 九 で づ は  
 マ で ば い た す す に 戸 そ 家 月 す い 遅  
 で し か だ い が ° 永 に れ が 九 ね て い  
 す た り よ ° 友 来 く 出 も 全 日 ° ま 時  
 46 思 ね 両 達 年 な て エ 大 沖 私 す 間  
 歳 い ー 親 恩 ー り 来 ラ 変 永 が が に  
 だ こ が 師 歳 ま て ブ で 良 高 エ メ  
 神 し の 元 と の し エ で し 部 校 ラ ー  
 戸 ま 年 気 会 祝 た ラ の た 台 三 ブ ル  
 市 す に だ い い が ブ 思 よ 風 年 も し  
 ) ° な っ た が エ よ い 、 思 今 こ て

人島子んながてでの月  
 なをにばっ子自し頃に島  
 ん考なくても分たは8を  
 やえっにき育自が利歳離  
 (ねてて、して身娘便にれ  
 yngwie 33 歳。ま欲元たたがが性なて  
 33 歳 すし気。い育大のり15年  
 佐。い到大とつきいす、  
 と、自のたくい。  
 世や思人然思『な都も  
 保 っいにのい島る会代う  
 市 ば近優中が』にが、娘  
 ) り々しで強でっ快も  
 島帰いわく我れ適代る

き像すたをあまり今島でん  
 まを ° ° 懐のるままか、で エ  
 し懐しいかき訳せでら家い ブ  
 た。かばっしれでんい離庭ま に  
 ( エ しらかくいなでいれのし は  
 コ くくま思なくし思る事た 小  
 32 拝通たう海、たいこ情 ° 学  
 歳 見っ島よや歳 ° 出とで両校  
 兵 さたへうフをでのに逃親の  
 庫 せ和行にり経も場なげの頃  
 県 て泊きなゝる島所りる出  
 ) い小たりジににで、よ身年  
 たのいまアっ罪は正うの弱  
 だ画でし畑れがあ直に島住

であるは行日がね元でた<sup>ち</sup>  
 すう涙機ゝ流！気す<sup>。ち</sup>  
 。ちがの所れ今で<sup>。よ</sup>  
 （渡<sup>（和</sup>にで窓要てです親<sup>う</sup>  
 辺<sup>泊</sup>ぜてかでいもか切<sup>ど</sup>  
 賢<sup>町</sup>ひきら沖る島ゝに<sup>10</sup>  
 治<sup>年</sup>島まえ縄んは？し<sup>前</sup>  
 三<sup>島</sup>をしらにでゆ？て<sup>一</sup>  
 歳<sup>今</sup>再たぶ行しっ懐く<sup>に</sup>  
 大<sup>訪</sup>訪<sup>。が</sup>がっよくかれは住<sup>住</sup>  
 阪<sup>問</sup>問生見たうりした大ん<sup>大</sup>  
 府<sup>し</sup>しきえ時ねとい皆阪で<sup>阪</sup>  
 ）<sup>た</sup>たてたゝ<sup>。時</sup>時でさ在ま<sup>ま</sup>  
 いい時飛先間すん住し<sup>し</sup>

とううべとられす母田  
 ・ににしき `まがが舎  
 ・としジも田せ `元が  
 `て見あ舎ん仕気恋  
 何まつりを °事なして  
 時すけま思地のうくから  
 の `てすい元関ちてら  
 日島かが出の係に仕  
 かをら `し音でと方  
 島忘は島て楽 ` `り成  
 にれ `の `聴休思まり  
 帰な開ホ涙きみっせま  
 れいくしすながてんす  
 るよよムるが取ま °。

(ゆり 53 歳 東京都)

島で  
 ので  
 生  
 活  
 18  
 歳  
 就  
 職  
 し  
 年  
 共  
 ち  
 見  
 頑  
 い  
 し  
 べ  
 に  
 ら

れ張つ安帰島で  
 たっのくりがの  
 らて日なた懐生  
 (嬉まにらいか活  
 よしすかながしが  
 うい。帰い旅くな  
 子で島るか費思が  
 50すののとがいくで  
 歳二を思高出な就  
 加ユ楽いくさり職  
 古ししまもれ年し  
 川スみすうまとこ  
 市がに。少す共ち  
 )見頑いしべにら

まもっ見の日麗不初ななにて  
 せ初てたな間だ安めっか行<sup>〇</sup>7<sup>主</sup>  
 んめ広こいはし半てて都っ日<sup>年</sup>  
 がていと所あ人面会や合て間<sup>、</sup>  
 沖でんがでっ々でうっがあ滞<sup>今</sup>  
 へ永しであ育とはし方とっげ在<sup>年</sup>  
 あ良たすりっいすたが行かたし<sup>の</sup>  
 い部<sup>。</sup>ねまたうご<sup>。</sup>ほけないま<sup>お</sup>  
 き島今<sup>。</sup>せの間しだとるかとし<sup>正</sup>  
 ちに度見んでにくけん事<sup>っ</sup>言<sup>し</sup>月<sup>部</sup>  
 っ<sup>。</sup>まい渡であ過優どどにたっ<sup>。</sup>に島<sup>。</sup>  
 歳たっすしんぎし行な<sup>な</sup>のて<sup>初</sup>出<sup>身</sup>  
 行行限たなまいっの<sup>り</sup>でま<sup>義</sup>め身<sup>。</sup>  
 大<sup>。</sup>きけり<sup>。</sup>にし方てでますし母<sup>て</sup>で<sup>。</sup>  
 阪<sup>。</sup>たる海そ綺たばみ嬉しがたは沖<sup>す</sup>  
 府<sup>。</sup>いかとし麗<sup>。</sup>かてし<sup>。</sup>が<sup>一</sup>永<sup>。</sup>  
 で分言てな私り島さ<sup>た</sup>今<sup>、</sup>度良結<sup>。</sup>  
 すかう<sup>、</sup>海は<sup>。</sup>は半<sup>だ</sup>年な連部婚<sup>。</sup>  
 りの海は海<sup>〇</sup>綺面<sup>、</sup>にかれ島し

ます特器来でくッ島前書ッ  
 す、にと年すてトをにきセ<sup>ヒ</sup>  
 。こ楽食は、うだう宮た<sup>ロ</sup>  
 れ器事必とずける古くジ<sup>リ</sup>  
 かのずてうでう島なを<sup>ン</sup>  
 ら修お行もずするへり読<sup>と</sup>  
 ち理店き良しがし行まん<sup>言</sup>  
 よがまいて沖てっしでい  
 くにやす感い永いてていま  
 ちはり、じる良まか、たす  
 よ自たいの今部すら筆ら、  
 く信いつ島日島、あでむ皆  
 おがのかでここに現ちすしさ  
 邪あで島すの行在こ、よん  
 魔りすでねごき、ち4うの  
 しま、楽、ろたネの年にメ

(浦川 53 歳 小野市)

出喫ま住きえて行校やじく  
 作ですんまら家きのんちら  
 りき °でしぶ族ま時にやい  
 なる子みたはみしはよんま  
 行し供た °大んたーく・で  
 夕きいたいこ好な °人会お  
 カまいちなノきでもでいね田  
 ヒすでに1年！帰う飛にえ舎  
 コ °すととに港ろ ∞ 行行ちの  
 38 歳 よっ思な祭う °機きやお  
 樂ねてうるりと今にまんば  
 し °もことに思年乗し・ち稚  
 兵みま `とえもいはったおや園  
 庫でた自もらよま親て °にん  
 県す思然あぶくす連よ小い・高  
 °い満りに行 °れく学ちお校

的だが姉ま々あしばしとい  
 なす、ちいえちたあみ歳頃 沖  
 朝♪帰やまらや、さ、のに 永  
 日早るんしぶんも、ん帰時、良  
 をくことたにもう、かつに回部  
 見きと妹、帰他、らて帰ほは  
 (ゆたれにとでる界、お、おき、ど私  
 み、いいな、もこし、母、た、た、帰、の  
 ななっ泊今とて、い、さ、の、時、つ、母  
 33 歳 あ海て、月もい、ちん、く、は、た、の、  
 )とと日、無、な、や、に、後、ら、故、郷  
 大(夜てといくい、ん、間、と、ろ、い、で、  
 阪)\*空も短となの、も、違、近、か、で、  
 府)\*、楽いこっで、お、所、ら、し、  
 )感しでのて、おれの、た、小  
 動みすおし中ばまおよ、。さ

ル一人でま知てしラ川  
 くるに家しらすまん畑月  
 だでな族たせみしダ吉  
 さ同り葬。るまたで秀日  
 川い。期まで発方せ。糖、  
 畑のしり執見法ん悲尿心国  
 秀いた行がが。し病歳頭  
 幸ま。い発な兄いのがの  
 二しもま見くのメ合マす  
 歳たしすのて同併ンく  
 大阪、。たメ期ル症シま  
 市、こ人め一のにでン長  
 市のメのが大ル人な死の男  
 一メ∞阪しにっ亡べ、

もみはしも届取で大しし  
 山で今みがきれ、好かか  
 のす日に大また叔き行島  
 よ。は待好しじ父なつに  
 う叔じっきたやか島たは  
 (に父めてな。がらでこい部  
 中野届きかていら母い送す  
 37まら食たしはもら。あせ身  
 歳すはべよく島がれ昨りんで  
 。フまう、の我て日ま、  
 岡りすで一じがき、せ私今  
 山市 |。す年や家た母んもは  
 ) ジ楽。もがに島経が2叔  
 アし私楽しいもで由、回父

りす漁ヨが親沖出書り  
 まね港ッらも縄身い所<sup>島</sup>  
 し、ト頑今でをてで、<sup>は</sup>  
 たそやで張、し聞<sup>あ</sup>す<sup>私</sup>  
 ・のっ島っ島たか<sup>り、</sup>  
 (銀<sup>の</sup>  
 河<sup>誇</sup>  
 54<sup>の</sup>  
 歳<sup>り</sup>  
 兵<sup>で</sup>  
 庫<sup>あ</sup>  
 県<sup>ム</sup>  
 )<sup>り</sup>  
 にい和前り．．頃ジの  
 なで泊にな両．、に扱

出ち前り出見はでしの配私た  
 身な教ま身つ帰した沖しの<sup>〇</sup>久  
 でみえしのけ郷たか永ま実<sup>七々</sup>  
 すにてた方ますから良し家<sup>月</sup>に  
<sup>〇</sup>私下ががしるらね部たは<sup>の</sup>ホ  
 (お宜はさゝ居た予安<sup>〇</sup>台がか<sup>台</sup>ー  
 し<sup>い</sup>ご酒が定心被風無な<sup>風</sup>ム  
 七<sup>〇</sup>く年<sup>〇</sup>存屋武でし害で事り<sup>は</sup>ペ  
 歳<sup>〇</sup>お生<sup>行</sup>知を蔵すまがはで古<sup>大</sup>ー  
 東願<sup>つ</sup>の経小<sup>〇</sup>しひ島しい<sup>き</sup>ジ  
 京い<sup>れ</sup>見<sup>〇</sup>方宮金島たどがたの<sup>開</sup>  
 都し<sup>で</sup>、し井へ<sup>〇</sup>く壊<sup>〇</sup>で<sup>た</sup>い  
 杉ま<sup>、</sup>おてでの今な滅昭今<sup>で</sup>て  
 並す<sup>い</sup>店るエ手年い状和回<sup>す</sup>み  
 区<sup>〇</sup>名すのとラ紙のよ態<sup>〇</sup>はねま  
 ) 小<sup>〇</sup>名あづで夏うで年心<sup>〇</sup>し

色えなりか他せかっ小  
 んち元にい界んなて、島  
 なや気帰まし。かま中を  
 期んか郷せてそ時し学離  
 (待はなしんしの間た生れ  
 有でましま。ま間ががのて  
 川胸だ？す今いに取り、夏に  
 剛膨島。年今おれ社休年  
 33 みに初 (のはばな会みに  
 歳みい恋屋夏おあく人にな  
 まる相子  
 兵すの手母 はじちてにはり  
 庫。かの久さや帰な毎ま  
 県なゆみしんれり年す  
 ) ? きんぶしもまな帰。

こおぶしす母ばジ  
 ろ土んた °、あを初  
 で産変 °私姉ち見め  
 す。話わ<sup>ニ</sup>は夫やまで  
 をっ<sup>年</sup>、婦んし沖  
 樂て<sup>も</sup>今、がた永  
 する<sup>帰</sup>年妹住 °良  
 30 みて<sup>つ</sup>もがん永部  
 歳 にだ<sup>な</sup>帰、で良の  
 京 待ろ<sup>い</sup>れ帰い部ホ  
 都 っなとまってに |  
 府 てあ °せて、はム  
 ) るゝずんい今、ぺ  
 と °いでま、お |

内皆ちの笑のジ . 今を間にくくすに  
 地さろ方顔誇を . 回実や福づも ! は今  
 でんん言 . り掲 . 書感家岡くり ! 自 `

(チ ` 自 ` 語を載 (いし族であや 分沖  
 b 島 然本り感し (笑 てまに退り ` 島の永  
 エリ を や当継じて ) みた支職が家を出良  
 ルヨ 忘 伝にいまくでま ` えをた族離身部  
 モ ☆ れ 統守ですだもし私らしさのれ地を  
 S ☆ ず もつい ° さ ` たのれ今を愛改 離  
 & これ ! てかおり多 ° 思てはか情め沖れ  
 S ! いなば改く ° いい島ん ` て永福  
 25 か 島きけあめの照をるにじ仲感良岡  
 才 ら をたれして方れお自在て間じ部に  
 b も はいば ` 島々く伝分住いのるにい  
 違 う なでなおのがさえが ° ま暖人戻ま  
 福 れすらじよメいしい多すかとりす  
 岡 土 てねないさッでたるく ° さ人予 °  
 県 地 でい ° いし ` セすくこの3 ` の定来  
 ) ` るも島の島しねてと仲月つぬで週

永念たお  
 良でかめ鶴  
 部す？でば  
 へが私とあ  
 行、ほうち  
 (き〜行ごん  
 ト)た月げざ、  
 シいに  
 34ではない「100  
 歳す休かま歳  
 。みつすの  
 神をたどのお  
 戸を取のう祝  
 市)っがでい  
 て残し」

のか思方山ここのをたす

際行いに百のれカ聞！が沖

(P.N. はき書な合よをバイ！、縄  
 宜たかん香う聞したそこ本  
 大しいせとさない曲かれの島  
 山くとしてしん歌て「ら、HPには  
 フお思頂てのをと小で、には行  
 ア願つきも故聞てさ大来行  
 ンいてまお郷かもなす。山来た  
 こしいし礼のせ、恋。百さた  
 歳ままたを沖て癒の特合せこ  
 大。す！言永もれうに香てと  
 分 の！い良らま「たMONGOL800さ頂な  
 県 で！た部えし。の。のまん  
 、「いい島るた。のまん  
 そつとの大。歌しで

. 数べかはしさないそエてち切敵く過がいたが意来ん  
 キき迷もいれ時とれラもにんな °ぎいくり流気島な描  
 ロかつう . た間同はブ唐包た女そるて日 `れ消しいキ  
 先こてど . 時だじもで突ま俺性し日 `々 ーて沈たエコ  
 にのるう彼間っようまにれのがて々そ . どい °んラ決  
 彼島 °で女がたう僕た躊た心手諦 °れ . うく殆だブ意  
 女は何ものにさ °にの人躊 °ををめジで ーで日どけにし  
 がと処いとら思唐手をも失温差 °レもこも々 ーど来た  
 いてかいつにい突を愛ないめしでン相んい °終 . ての  
 るも別事て残出に離すくかて伸もマ変ない昨わ . もは  
 と狭のな僕酷が躊れる °けくべそ `わん ー日っ来うい  
 思す土のはに `躊たと俺てれてん自らじつとた島3い  
 うぎ地かど胸記も °いにたたくな分ずやて今 ー当年け  
 (知とるでもうを憶な明う同モ °れ日のにい感日と初にど  
 名胸 . も知い裂がく確こ情ノとた々小ホけじの思はな .  
 っが . っれうくま . なとしがて °にきンなに違っ何る .  
 子詰ほとな存 °た . 別をた久もそ光さトい時いたもん .  
 まん新しい在ど俺短れ思のし穩のがににっ間が . 無だ上  
 25 歳の  
 るのし今だうをいのいかぶや手指焦ゆてと上 . いな手  
 . 数スこっし苦本理出もりかはし燥っ ー自手なこ °く  
 鹿 . 分夕のたよし当由し . になホた感くも分くんの仕書  
 児息先 ー島かうめにもた . 蘇優ン °がりがをっ と島事け  
 島苦にトを ? もる短な °こっしトと募 `い消かなにのる  
 県しほを離 ? な `いくだのたいにてっ緩て費なく正関か  
 ) いん切れ今く満幸出け島 °気冷もて慢 `しか月直係分  
 . のるるで苦たせ会どでと持め素いにもてっ日 `でか



〓とよがまとやいこ  
 !きう、すこ島まの退  
 はとこ、ろにす島職  
 (大 宜決の色か行、にを  
 塚 しめ島ん確きそ移して  
 52 くつでなか自れ住て  
 歳 おっ人場め分まを年金  
 豊 願あ生所よのでしが  
 後 いるのをう目はよ出  
 大 しま最探とで色う始  
 野 ます後し思、んとめ  
 市 す、をまっどな考た  
 ) よそ迎してん情えら  
 おのえたいな報て、

き画っのの全りミたら都船  
 た課たよそての時めし市で  
 いに感うのが夕雨にい総は  
 島預動な全が立、作島会る  
 でけ忘島て全、潮っでにはば  
 してれでがて夜騒たし参る  
 たいまし僕がはの曲た加沖山  
 (草野 51歳 萩市)  
 ませたの僕一メ、永口  
 すん、宝の面口島こ思良県  
 交物宝満デへのっ部萩  
 い曲流、物点ィ、日たで市  
 っは会本、の、の、の、の、か  
 か和で当沖星、交上つら  
 必泊皆に永舞土朝流のラ、  
 ず町と宝良台砂の会素ワ名  
 行企歌石部、降セの晴、が

永舎エ有々は間か友ま  
良がラ難大感をし達し一  
部有ブう変謝過くとた昨  
最るにごだしご昔何 °年  
（高 っ帰ざっまし話十中も  
二で てるいたすまに年学歳  
児す の。良事まと °し花振卒の  
母 いがす思名たがり `祝  
も で出 °い簿 °咲か高い  
歳 す来今ま作幹きの校に  
よる度す成事楽再卒島  
神 ねかは本かのし会以に  
戸 °くい当ら方いに来帰  
） 沖田つに諸に時懐のり



方にさで来かふ皆で離居便  
 くない、たしとん迎れなり  
 自る。皆らく、なえていを  
 愛と年さ、なそはる何み読  
 元だ度たん  
 の下思末ん必るん  
 ぶさい年元ず。な  
 気る目いで  
 さいま始気帰金事  
 にうのでい  
 ん　すとでり錢を  
 しか冬すく  
 本　が慌過ま面思  
 てる？をねと  
 歳　、たごすでうだ島、同  
 おだし。余とろでこ私年  
 大身してそ裕島う暮のも代  
 阪体いくれががから大島は  
 の日だま出懐？す阪を、

の（株  
 山式  
 本会  
 で社  
 すル  
 31  
 歳ト  
 サ  
 大ー  
 阪ビ  
 府ス  
 2010/07）  
 西  
 民  
 間  
 救  
 急）

た思たかかクのゴへみがず阪ま本  
 い°みらシ病しんんむにでし日  
 まこのでし院をあなっ早はた`  
 しのあすにか送りがち速見°沖  
 た気る°てらっが生や`た大永  
 °持方沖移大てた涯く家こき良  
 本ちな永送阪頂くーち族とさ部  
 当をん良さ いい番や全がや島  
 に励だ部せ伊たたのあ員あきの  
 あみと島て丹方だおるでりれ方  
 りに心の頂`はきいじ食まいか  
 がしか皆い空昨ましやべせなら  
 とてら様た港年しさあてん色マ  
 うま感が方まのたとり見°のン  
 ごい動どので°絶まるが輝ゴ  
 ざり致れごを月こ賛せとまきし  
 いたした家介にの！ん`んなが  
 まいまけ族護大マたか甘でど届  
 しとし温様夕阪ンい！みき大き

いはい ござ  
で非き皆ざ  
すゝた様い  
皆いと  
様と共  
も再に  
一認島  
筆識へ  
おさの  
寄せせて  
頂いた  
けただ  
ままだ  
しきま  
たら幸  
した。

平成二二年八二月吉日

## 島への手紙第三集

<http://erabuisland.com/> webmaster